

性別変更ボクサー プロ受験認めず

女子元王者 真道ゴ一選手

性同一性障害のため性別適合手術を受け、男性としてプロ復帰を目指すしている世界ボクシング評議会(WBC)女子フライ級元王者の真道ゴ一選手(36)(グリーンツダ)のプロテスト受験について、日本ボクシングコミッション(JBC)は19日の理事会で、選手の安全面などを理由に、現状では認めない判断を下した。新ルールを策定し、準公式試合として、試合場で男子選手と公開スパーリングを実施することは認める。

JBC、準公式試合は容認

専門家による諮問委員会は、「テストケースとして認めることは可能」と答申したが、JBCは「打撃を加えることで勝敗を決める競技の特性から、受験容認には踏み込めない」とした。一方、男性に性別変更した選手のルールを設け



真道ゴ一選手(19日午後、大阪市浪速区で)記者会見する

た上で、「3ラウンド程度と短く、レフェリーが試合を止める判断が早い準公式試合なら危険性が低い。その内容を見て、テスト受験の可否を判断する」とし、将来、容認する可能性に言及した。

真道選手は大阪市内で記者会見し、「結果は残念。ボクシングをやめるとも、認められるまで頑張るといふ表明も、できない。海外にも目を向け、どうすればリングに上がれるか考えたい」と話した。〈解説〉と関連記事スポーツ面▽